



星川だより

冬

熊谷空襲を忘れない市民の会 会報

映画『ザ・思いやり』を観て十その後

スズキ・マサシ

十一月六日、映画『ザ・思いやり』を観た。知らずにいた在日米軍への思いやり予算の不自然さを、ユーモアとともに学ぶことができた。

ゴルフ場やマクドナルドなど、不要と思われる様々なものに使われている。特に米兵による凶悪・暴行事件の賠償金に使われているのには本当に驚いた。広く国民が知れば納得できないものだろう。

また在沖繩米軍のグアムへの移転案にグアムでは賛成だと聞いていたが、沖繩と同じく反対派が存在していることは恥ずかしながら初めて知った。またそのグアムの反対派は沖繩の反対派を同土と捉えているのを感じて救われる気持ちにもなった。

外国人が日本の思いやり予算について教えられると皆不思議がったり驚いたりしていたが、それが世界の一般的な反応なのだろう。様々なニュースへの国内での反応を見ていると、日本は情報や価値観の鎖国状態にあるような気がしてならない。

さて、ここからは上映会をきっかけに調べたことについて

軽くまとめた。

まず思いやり予算成立の背景について。一日放送の

「報道ステーション」の思いやり予算の特集で、当時の外務省安保課長の証言があった。

日米地位協定の二四条には「合衆国軍隊を維持することに伴うすべての経費は：合衆国が負担する」とある。しかし七〇年代半ば、アメリカ側から「維持に伴う経費」の見直しへの要望が相次ぎ、維持に必ずしも伴わない経費を思いやりとして払うことにしたそう。遊興費などに使われているのはそういう経緯によるものだったのだ、と言いつつもそこから外れて米軍の維持のために使われていることも指摘。映画にも登場した呉東正彦氏が横須賀の基地強化にも使われているのを紹介。嘉手納飛行場でも基地強化に使われているそうである。

次に、そもそも在日米軍が日本を守るのかについて。上映時の意見交換では「在沖繩の米海兵隊には日本防衛の任務はない」という米側の発言が紹介されていた。

一般に、米軍が日本を守る根拠は日米安保条約の第五条だと言われている。また六五年の佐藤首相とジョンソン大統領

なぜ国民の税金で…

どう考えたっておかしい

米軍に国民の税金20兆円

日本負担 6739億円

これがニッポンジンの思いやり？？

パクレイ監督が「オモイヤリヨサン」をコミカルに斬る!

の共同声明に、米国が日本を防衛する決意であると述べている部分もある。確かにこれらを見ると、米軍が日本を守るとアメリカ側が明言していることになる。少なくとも六五年までは。

しかし書籍『仮面の日米同盟 米外交機密文書が明かす真実』によると、それを否定する米側の資料が三つ（七一〜七四年に作成）発見されているという。

それらには、「在日米軍は日本本土を防衛するために日本に駐留しているわけではなく、韓国、台湾、および東南アジアの戦略的防衛のために駐留している」「日本国内およびその周辺に配備された米軍部隊は、日本防衛のためではない」「在日米軍および基地は日本の防衛に直接関与しない」という表現がある。

そしてこの「在日米軍は日本

を守るために存在しているわけではない」という立場は、現在に至るまで受け継がれている基本的な考え方だという。意見交換で紹介された米海兵隊にある。日本を守らない米軍を駐留させるのみならず、思いやり予算まで計上するとは全く理解できない。

さらに七八年成立の「日米防衛協力のための指針」の改訂（九七年・一五年）の内容の変化を見ると、日本の防衛に関してアメリカは徐々に及び腰に、そして日本は前のめりになっているそうである。つまり行動面でも日本の負担は増えつつある。

こうした資金・行動両面における日本の負担増の流れの中、アメリカではトランプ政権が成立する。トランプ氏は在日米軍の経費について日本の負担増を主張してきた。状況はますます流動的であり、今後の流れを注視する必要があると思われる。





星川だより

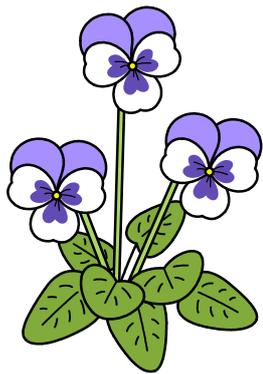
小川美穂子

千葉国体の開会式で県下の合唱部員はお揃いの制服を着て国体のテーマソングや高校野球の歌を歌いました。あつ「君が代」も歌っちゃったんだろな。今なら着席できるけれど。作新学院の江川、銚子商業の篠塚などを間近にみました。ちょっと前後しているかもしれないませんが、思い出したので書いておきます。

千葉女子高校の生徒だった時、熊高生と文通していました。通信教育の機関誌の頁で双子の妹が「ペンフレンド求む」なんてものに応募しちゃいました。妹は東京に近い自由な校風の共学校で水泳部でしたから、二人はかなり違うタイプ。で、私は三人の男の子と文通していました。

さて、縁あって、少し保守的な地方に嫁いで、面白いことがしたくてタウン誌のママさん記者となりました。その頃、星川の柳を伐採し、川岸をコンクリートで固めてしまうことになり、反対運動を取材。そればかりか反対署名を集めたり、イベントにも少し関わりました。

タウン誌では盲導犬アイメイトや宮沢賢治、新川など、様々なテーマで取材と活動のつこんでいました。私だけじゃないのです。公私混同も甚だしい、しかし楽しい「学校」で



した。走り回る上司・先輩。それから輝いている取材対象者。夢中で吸収しました。この仕事は、時として、苦しいことや誤解されることも多かったけれど、沢山のひとと会えました。星川周辺は熊谷の中心地だから、素敵な店・神社仏閣もあるし、歴史の宝庫です。やがて熊谷空襲のことを知りました。生き証人もお元気でした。書いておきたくて、仲間と小冊子を作りました。「あついぞ熊谷」助成金の十万円をいただいたてやれたことです。そんな中で更にまた色々つながっていききました。それから幾星霜、世の中では熊谷空襲は過去の話になりつつあります。その上、まさかの展開で、今や「戦前」という雰囲気が濃厚になってきています。信じられない思いです。「星川だより」のネーミング、素敵だな。一夜、星川に遊べば、まさに「温故知新」。これからも学んでいきたいし、その楽しさを共有したいと願っています。

～ カンパのお願い ～

熊谷空襲を忘れない市民の会では、広く活動費用を募るため口座を開設しました。ご協力のほどよろしく申し上げます。なお、会計報告はこの紙面により行います。

ゆうちょ銀行

口座記号・記号：00100-7-265321

加入者名：熊谷空襲を忘れない市民の会

口座名称カナ：クマガヤクウシュウワスレナイシ
ミンノカイ

他行からの振り込みの場合は

店名（店番）：0一九店（019）

預金種目：当座

口座番号：0265321

編集担当者を募集します。

編集委員 吉田庄一、米田主美

連絡先 吉田庄一

携帯 090-4957-9181

メール imajn241@gmail.com

会計報告

収入 267,275 円

支出 168,447 円

残高 98,828 円

(2016/12/14)

熊谷空襲を忘れない市民の会企画

「作家野村路子氏と詩人中原道夫氏が熱く語る 文学者からのメッセージ」

人間が人間を殺すために作った施設
人間の誇りと尊厳を奪った場所 アウシュビッツ
～ナチス収容所で子どもたちは4000枚の絵を残した～

日にち：2017年4月16日（日）

時間：13:00 開場 13:30 開演

会場：荒川公民館（予定）